

# 白石警察署協議会開催結果の概要

令和6年3月14日

会 議	令和5年度 第3回白石警察署協議会
開催日時	令和6年2月27日（火） 15：30～17：00
開催場所	白石警察署訓授室
出席者	◎協議会：友納会長 久原美委員 早田委員 森委員 (4人) ◎警察署：木下署長 副島警務課長 三好生活安全・刑事課長 伊藤地域課長 堤交通課長 前田警備課長 警務係長 (7人) 計11人
議 事 概 要	
<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 会長挨拶</b> 白石警察署協議会の各委員様及び白石警察署の皆様方には、公私とも大変お忙しい中、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 さて、本日の協議会では、昨年10月に開催された第2回白石警察署協議会で諮問を受けた「ニセ電話詐欺被害防止対策」についての答申を行うこととなっていますが、加えて委員の皆様には、白石警察署の業務運営などに関し、自由闊達な御意見を頂戴したいと思っております</p> <p><b>3 署長挨拶</b> 警察署協議会の皆様には、平素から警察の運営に関しまして貴重な御意見、御指導をいただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。 さて、昨年中の県内の人身交通事故の発生状況ですが、人身交通事故の発生件数及び交通死亡事故は、減少傾向にあります。今年に入り6件の交通死亡事故が発生しており、由々しき状況となっています。 当署管内においては、地域と連携した交通安全対策を推進中のところ、人身交通事故は減少し、死亡事故についても3年連続で死亡事故ゼロを達成していますが、物損事故については急増している現状にあります。 しかしながら、県内の刑法犯の認知件数は、増加傾向で推移しており、特にニセ電話詐欺事件が増加しています。白石警察署管内においても、アポ電が激増し、ニセ電話詐欺の被害が3件発生している状況にあることから、前回の協議会では「ニセ電話詐欺防止対策」について委員の皆様には諮問をさせていただきました。 本日は、「ニセ電話詐欺被害防止対策」について答申をいただくほか、警察署の業務の在り方や、地域の治安問題について、積極的な御意見を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p><b>4 業務概況報告</b> (1) 警務課長 ～ 広報活動状況等 (2) 生活安全・刑事課長 ～ 刑法犯・窃盗犯認知状況、犯罪検挙状況、犯罪抑止活動状況、男女間トラブル等の認知状況等 (3) 地域課長 ～ 110番の日広報状況、110番受理状況等</p>	

- (4) 交通課長 ～ 交通事故発生状況、交通事故の特徴等
- (5) 警備課長 ～ テロ対策、要人警護等、災害警備対策

## 5 答申

会長が、令和5年度第2回警察署協議会における警察署長の諮問 「ニセ電話詐欺被害防止対策」について、

全国的に架空料金請求詐欺をはじめとするニセ電話詐欺の被害は後を絶たず、さらには、SNS等を利用して相手が抱く恋愛感情などを悪用したロマンス詐欺などの犯罪被害も増加しており、犯人の手口も社会の情勢にあわせ変化するなど巧妙化している。

これらの被害を抑制するためには、「詐欺かもしれない」と被害者自身が認識して、犯人の言葉を信用しないことが重要であり、さらには金融機関やコンビニエンスストアなどの水際対策が急務だと考えるので、

- 広報のあり方

ニセ電話詐欺の被害を「自分のこと」と捉え、被害防止のために落ち着いた行動ができるような広報活動が必要

- 被害を出さない環境づくり

民間企業もニセ電話詐欺対策に関する各種事業を無償化したりする取組を行っているので、巡回連絡や各種講話を通じてこれらを紹介するだけでなく、高齢者に対しては警察官がサポートを行うなど、ニセ電話詐欺被害を防止する環境作りを行うことも有効かと考える

以上の2点を当協議会の答申として提案する

旨を白石警察署長に答申した。

## 6 意見交換・質疑等

委員：今朝、大きな交通事故が発生したようだが、どのような状況であったのか。

警察：事故の原因は調査中であるが、当事車両が反対車線にはみだして停車中の車に衝突した、車両計5台が関係する事故で、怪我自体は軽傷であったが、一步間違えば大事故につながりかねないという事故であった。

佐賀県内では、昨年1年間で13件の交通死亡事故が発生しているが、今年には既に6件の交通死亡事故が発生しており、非常に憂慮しているところである。

委員：夜にバイクの騒音が聞こえてくることがある。

一昨年のものであったか佐賀大学付近で、若い人達による暴走行為があったが、白石町付近は交通量も少なく走りやすいためか、バイクの練習をしているのか分からないが、バイクによる騒音が発生している。

警察：バイクによる騒音苦情は、通報もあり警察も対応をしている。

整備不良などの違反があれば検挙しているが、イタチごっこになっており、これも憂慮している。

委員：駐在所連絡協議会について、新型コロナウイルスの関係で4年間位開催されていないか、開催されても書類を配布しての会議となっていると聞いている。

新型コロナウイルスも沈静化してきていることから、開催を検討して欲しいという声が出ている。

警察：各交番・駐在所連絡協議会については、今後徐々に通常開催になっていくと思う。

新体制になれば、諸情勢を踏まえて開催を検討したい。

- 委員 : 先程の説明では窃盗の被害が多くなっている。  
大町町では、空き家が多くなっており、そうした空き家の門が壊されるなどして門扉やホールの盗難等が増加しているようであるが、どのような手口が発生しているのか。
- 警察 : 最近、多く発生しているのが、空き家などに設置されたままになっているエアコンの室外機を盗むケースがある。  
その他にも、屋内に侵入し金品を窃取する者もいるので、警察としては施錠の促進や、空き家対策として室外機等の撤去を呼び掛けている。
- 委員 : 今年、1月に自宅前の交差点で交通事故が発生し、私が110番通報をしたが、警察官の臨場が遅かったことがあった。  
通報する場合には、110番通報をしたほうが良いのか、それとも警察署にダイレクトに通報した方が警察官の臨場は早くなるのか。
- 警察 : 110番通報にしても、警察署への通報にしても、警察官が臨場する時間に大差はなく迅速に対応するようにしている。  
ただ、事案が重なれば臨場が遅くなることもある。  
110番通報を受けた通信指令課では、常にモニターでパトカーや警察官の動態を管理しているので、付近の警察官に直接指令できるという利点がある。
- 委員 : ニセ電話詐欺や高齢者の交通事故抑止については、これまでは「対岸の火事」としか考えていなかったが、警察署協議会に出席するようになって、このような問題は、「自分の事、家族の事、身近な事」と捉えて、家族と会話することも意識の向上に繋がると思った。
- 委員 : 店のお客さんから聞いた話だが、玄関のチャイムが鳴ったので返事をすると、男が玄関内まで勝手に入って来て、「何か不要な物はないか」などと言って、なかなか帰ってくれなかったということだった。  
このような場合に、「警察に通報する」等と相手に言って電話していいのか。
- 警察 : 110番通報していただければ、警察で把握もできるし、対応もでき、付近の警戒もできるので、遠慮なく110番通報して頂きたい。

## 7 その他

次回は、令和6年6月頃に開催予定

## 8 閉会